

第42回 理事会報告書

(財)おかやま環境ネットワーク

日時：2008年6月14日(土) 13:00~15:00

出席：理事会=17名(内委任4) 監事2名

議長：青山 議事録署名人：清水・白井

〔報告・承認事項〕

1. 2008年5月末決算報告、会費納入状況報告がありました。

2008年5月末会費納入状況は、個人37・団体21・法人28・合計86会員です。昨年同期と比べて16会員少なくなっています。会費納入のずれなどがありますので、会費納入の動向が明らかになるのは6月末時点です。

5月までの決算状況は、法人会員を中心に会費納入が計画・前年よりも遅れていますので、141万円の赤字(計画比 24万円、前年比 50万円)となっています。

2. 事業報告など

助成活動報告会の報告がありました。昨年度助成を受けた12団体より、1年間の研究や活動の成果が報告され、5名の講師より講評をいただきました。参加者は43名でした。

ホタル連絡会とホタル編集会議の報告がありました。ホタルの幼虫の上陸状況について交流しました。今年雨が多かったので、分散した上陸でした。陸棲のヒメボタルの幼虫が、新見で始めて発見されたこと、カワニナの好む餌についてなどについて意見交換がありました。ホタル連絡会のまとめについて、視点や必要な調査項目などについて話し合われました。

企業部会の報告がありました。昨年の企業環境塾は、5社10名の参加でしたが、派遣企業からは高い評価を得ているので、企画内容を見直して2008年度も開講する方向を確認しました。

総合政策検討会の報告がありました。「環境NGOのネットワーク化」について意見交換しました。各団体の活動状況や課題などについて把握することが弱い、その点の把握や他団体へつなげていくことを、もっと組織的にすすめることが大切だ、おかやま環境ネットワークの考え方をまとめ行政や業界などに提言することが重要だなどの意見が出されました。

おかやま環境ネットワークの組織体制などについて話し合いました。出された主な意見は次の通りです。もう一度役員の役割分担と責任体制をはっきりさせる必要があるなどの意見が出され、会員の状況を可能な限り整理し、組織のありよう・ネットワーク化の方向を総合政策検討会で継続論議することになりました。

アースディ企画の報告がありました。百間川河川敷をフィールドに自然観察や摘み取った野草の天ぷらの試食などを行いました。参加者は42名でした。

環境家計簿レポート2007、環境家計簿アンケートのまとめを作成し、登録者などに郵送しました。

〔協議・決定事項〕

1. 2008年度エコファミリー講座の企画概要が提案され確認されました。基本は今までの活動を踏襲しますが、事前学習や大人企画を一部変更します。また、参加費を会員と非会員で区別します。
2. 200年度環境講座「自然とくらし」の提案があり確認されました。受講生通しの交流がすすむような配慮をします。
3. 自然部会報発行の提案があり確認されました。自然保護団体や個人の交流などを目的に季刊で発行します。団体会員・個人会員の寄稿を基本とし、自然環境部会が編集を行います。

3年後の2011年8月1日がおかやま環境ネットワーク設立10周年になります。閉会にあたり、青山理事長より10周年記念事業を実施したいので、各理事で企画案を考えてほしいとの要請がありました。

以上